

議 事 録	
会 議 名	令和7年第2回稲沢警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和7年5月28日（水）午後3時から午後5時30分までの間 稲沢警察署 講堂
出 席 者	1 委員 8 名（定数10名） 亀山 真由美 会長 室屋 皆子 副会長 森 清次 委員 寺澤 恵子 委員 辻 亜希子 委員 酒井 順子 委員 小澤 康彦 委員 林 昌弘 委員
	2 警察署員 9 名 太田署長 清水副署長 足立警務課長 森 会計課長 小野安全課長 長坂地域課長 酒井刑事課長 山田交通課長 細川警備課長
	3 有識者等 なし
1 署長挨拶 2 会長挨拶 3 報告内容 (1) 前回の協議事項 市民の身近で発生する乗物盗の被害防止対策 (2) 前回の意見・要望 ア 無施錠の危険性や防犯対策の必要性にかかる意識向上への取組 イ 盗難多発場所における管理者対策の推進 ウ 効果的な被害防止資器材の普及に向けた取組 (3) 施策推進状況 ・ 各種会議や管内中学校において乗物盗被害の現状及び被害防止対策の講話を行い、無施錠の危険性や防犯対策の必要性を説明し、意識向上に取組んだ。 ・ 小学校周辺地区でまちの防犯診断を行い、防犯カメラが設置されていない駐車場への防犯カメラの設置等を検討した。 ・ 無施錠の自転車に対する「仕掛学タグ」と呼ばれる防犯タグの取り付けを推進した。 ・ 管内短期大学生のボランティアとともに自転車に取り付けるワイヤー錠の配布キャンペーン及び、自動車防犯のスペシャリストである外部講師による自動車盗被害防止対策セミナーを開催した。	
4 協議事項 特殊詐欺の被害防止対策	

5 発言の要旨

- ・ 日に日に新しい手口の詐欺の電話がかかってくる。新しい手口の周知をすることが必要だと思う。
- ・ 家族で話し合ったりする機会が減り、特に若年層の倫理観が薄れてきていると思う。若年層の規範意識を高めることが必要と思う。
- ・ 若者も特殊詐欺の被害にあっていると説明を受けたが、学校や他の機関と警察も連携して教育などを行う必要があると思う。

6 意見・要望

- (1) 多様化、複雑化する特殊詐欺の手口について、広報・啓発により、市民への周知徹底を推進されたい。
- (2) 若年層が特殊詐欺に加担しないような取組を推進されたい。
- (3) 学校や関係機関と連携して、被害の未然防止対策を推進されたい。

7 その他

- (1) 協議の合間に当署白バイ隊員によるデモンストレーション走行の見学を実施した。
- (2) 次回開催予定  
令和7年9月12日。  
機動隊において訓練の見学等を予定。

以上